



御用

年功

海門

足利義昭
足利義隆
足利義隆
足利義隆

足利義隆
足利義隆
足利義隆

足利義隆
足利義隆
足利義隆

足利義隆
足利義隆
足利義隆

足利義隆
足利義隆
足利義隆

足利義隆
足利義隆
足利義隆

天正十一年
十三年
十四年
十五年
十六年
十七年
十八年

十三年
十四年
十五年
十六年
十七年
十八年

前田家系圖

利春

尾州荒子邑主、永祿三年十月卒
卒於荒子城

利久

以嫡長嗣立領荒子邑後有故所退
于織田信長公於是公使弟利家
繼前田宗以知荒子邑事矣故利
久刺殺退居能州七尾

利治

稱慶次實澁川儀大夫某男也利久
無嗣男故養為子以女妻之乃冒姓
前田氏仕于加川后辭祿退于京師又
仕於會津上杉氏遂終于其土才林

利玄

稱三右衛門也

安勝

稱之山兵衛也于能州七尾城

利治
正虎 稱安次以處士終于
能州無嗣
一、多夫 一、大寺士 山本彌兵衛
二、北條主殿
三、長谷川重川
四、平野重川
五、田沼重川



安勝

籍名長洲 居于能引七地城

一、家大... 二、北... 三、長... 四、平...

字為利久 妻女嫁廣以利治

利家

小字大... 長種... 任... 首一...

女子

良之

冒姓依... 任信長... 元... 三... 味... 亦... 存... 戰... 化

秀繼

是... 利... 或利... 三... 半... 運... 國... 卒... 無... 嗣

女子 嫁有白... 見... 守... 定... 吉

利長

小字大... 代... 長... 稱... 孫... 四... 印... 心... 綿... 老... 才... 生... 于...

利正

小字又... 若... 臣... 孫... 四... 印... 稱... 利... 堂... 氏... 居... 能... 州... 七... 地... 任... 送... 還... 下... 傳... 從... 無... 能... 登... 牙... 后... 有... 故... 退... 居... 立... 師... 別... 塚... 家... 悅... 意... 形... 十... 才... 卒... 其... 土... 聚... 藩... 生... 氏... 鄉... 女

知好

利孝

賜米地於野川七日市

利貞

利常

初名利光... 小字... 猿... 子... 代... 又... 稱... 大... 十... 代... 實... 利... 長... 弟... 也... 利... 長... 無... 嗣... 慶... 長... 六... 十... 立... 為... 也... 尚... 台... 德... 公... 初... 主... 事... 不... 興... 于... 金... 澤... 城

光高

利次 十方石長富山城

利治 分與七方石長大野寺

三代 利常

初名利光字棟子代又稱犬子代
實利長弟也利長無嗣廢長立斗
立為世子尚台德公相妻不與千金澤城

四代 光高

利次 十方石長富山城

利治 分與七方石長大智寺

利明 乃兄利治嗣

綱紀

永元三年五月十九日

御田信長朝義元柳峽

信長二十六年

信長二十三年

四月廿十日

信長美濃ヲ侵シ齋藤就興ヲ斬

七年信長美濃ニテ稻葉城ヲ攻メ

陷シ就興逃ルニ出奔

之患元年甲子信長奔

淺井長政 越前將朝倉景健 大市川我

秋月三好泰長已得和歌山

福島備前長之ヲ討リ石山ヲ取リ

光高乃友之ヲ助

信長 義直系長政 自殺

天正三年六月勝頼 長篠之圍

信長ヲ利家成政リテ 鏡子三年

秋月三好泰長紀伊郡職請下野田
福島備前長之討少石山在野田ノ主
光在野田友之助

天正三年八月廿一日自殺

天正三年八月廿一日勝頼為州長篠之國
家原援之織田信長四千載

信長利家成政リテ鏡子三千ノ目云

天正九年勝頼國兵新海内一萬三千

率ト加州入利家以長ノ御子

勝頼之拒リ

村井長柳

奥村永綱

長 連就

橋山長弘

前田長禮

利家素稱武勇成政國難

甚打都成文、奥村永綱為

上將、且親御、白く軍サキ

手立サキく、思心切リ極

意成

天正九年利家成政を討ち北野

切、其者之善、八月、關白善

可勝千餘、善善、中、善

の家、是、成、八、善、善、善、善

善、善、善、善、善、善、善、善

利家、善、善、善、善、善、善、善

前田
系圖
依竹

早稲田大学図書館

文書 27

D 60